

- 首都高速約327kmのうち、約64kmで更新事業を実施中。
- 平成26年からの点検強化等により、新たに更新が必要な箇所が約22km判明し、対策として約3,000億円の更新事業が必要。
- 道路は時間の経過に合わせて劣化するため、これらを除く約241kmについては、新たに更新が必要となった箇所と同様の構造・基準の箇所等で損傷が顕在化する可能性があることから、今後の点検結果等を踏まえ、更新事業の追加を検討。

羽田トンネル（新たに更新が必要な箇所の例）

構造目地の腐食・漏水



中床版上面のコンクリートはく離



漏水による
緊急交通規制

2013年度
3回・約5.5時間

2倍以上
増加

2021年度
7回・約15.0時間

ダクト部

中床版

対策
概要

- ・損傷部位（中床版等）の全面的な補修・更新
- ・トンネル内面を繊維シート・防水塗装により被覆して劣化因子を遮断
- ・施工時の交通影響の軽減や完成後の渋滞対策として、羽田可動橋を活用

荒川湾岸橋（新たに更新が必要な箇所の例）



開通直後

2010年時点



2021年時点



塗膜剥離による腐食



ガセットプレートの破断

対策
概要

- ・損傷部位（ガセットプレート等）の全面的な補修・取替
- ・塗装下地から高耐久な塗装に全面的に塗り替え
- ・アクセス困難箇所等に点検通路を設置して維持管理性を向上



<首都高速の供用延長：約327km>

- : 現更新対象（約64km）
- : 更新必要箇所（約22km）